

令和4年度 第1回離島ビデオ審査会実施要領

※ 審査手続きを円滑に行い、できるだけ早く結果を発表するため、この要領に従って事務処理を行うようお願いします。

1 実施種別、対象

審査種別：無指定級から式段まで

審査対象：中学生、高校生

2 審査の手順

1) 審査申込書等の提出

審査手続きを円滑に行い、できるだけ早く結果を発表するため、手順に従って事務処理を行うようご協力をお願いします。

ア 受審者（弓道部顧問の事務処理）

・審査申込書の右下の記入欄について

審査名称：「令和4年度第1回鹿児島県離島ビデオ審査」

・審査申込書、受審料、審査名簿（様式2）、初段受審以上の学科レポート（様式1）及び行射の映像を、所属する支部へ提出する。

・行射の映像は、**審査名簿の順に連続して行射し撮影する。**

・**録画のファイル形式は「MP4」、ファイル容量は300MBまでとします。ビデオDVD形式は不可。媒体はSDカード又はUSB。**

・録画映像のファイル名は「学校名〇〇番から〇〇番」とします。

・10名を超える場合は、10名ごとに**連続して撮影**し、複数ファイルとして提出すること。

・別に記載する4)の撮影要領に従って撮影すること。

締切日：令和4年10月31日(所属支部へ必着)

イ 支部の事務処理

提出された書類の内容を確認したうえで、支部分をとりまとめて県連事務局へ送付する。

（確認する内容）

・**受審資格**を満たしているか、

・審査名簿と映像の**順番が合致**しているか。

・サンプル画像のように足踏みから打起しの頂点までが画面に収められているか、立順おとおり全員がおさめられているか。**（不備の場合は再収録を指示してください）**

・**学科レポートの課題**に間違いはないか。

・現在の級段位に間違いはないか。

等々

・県連へは、審査料のみを送金してください。審査手数料（500円）は支部において収納し、ビデオ審査に係る経費等に充当してください。

※ 申請書類に不備があった場合は審査対象から除外する場合がありますので内容については慎重に確認し、不備があった場合は当該学校へ連絡の上整備したうえで

県連事務局へ送付するようお願いいたします。

締切日：令和4年11月10日(支部から県連への提出期限 必着)

- 2) 県連事務局は、県内全部の申請書等を取りまとめ、内容を確認したうえで審査員を委嘱し、判定を依頼します。(不備があった場合は支部へ連絡しますので当該の学校へ整備の指示をしてください)
- 3) 審査員は、県連から送付される審査名簿、行射の映像により判定し、その結果を県連事務局へ返送する。

結果報告締切日：令和4年11月30日を目途とします。

- 4) 県連事務局は、各審査員の判定結果を取りまとめ、審査員に送付の上判定を確定する。
- 5) 県連事務局は、確定した審査結果を支部へ通知する。(令和4年12月10日頃)
この際に、お預かりした録画媒体(SDカード、USB)は返却します。
- 6) 支部は、審査結果を管内の各学校へ通知する。この際に録画媒体も返却してください。
- 7) **各学校の顧問は、判定結果を本人へ通知するとともに登録料を取りまとめ、支部へ納入する。 令和4年12月20日必着**
- 8) **支部は、管内の学校の登録料を取りまとめ、県連へ送金する。12月24日 必着**

※ 登録料の取りまとめが遅れると登録手続きができません。この結果、認許証の発行が大幅に遅れることとなります。登録料は速やかにとりまとめ、県連へ送金するようにお願いします。 2月上旬 認許証送付予定

- 9) 県連事務局は、全日本弓道連盟の登録システムにより登録手続きを行う。
 - 10) 県連事務局は、全日本弓道連盟から送られてきた認許証を支部に振り分け、送付する。
 - 11) 支部は、認許証を学校ごとに振り分け、交付する。2月上旬 認許証送付予定
- 3 提出書類等について

1) **審査名簿の作成要領**

受審者を、段級位の低いもの(無級、5級～1級、初段)から順に並べ、現在保持している段級位の経歴の浅い順に、段級位の取得日が同じ場合は年齢の若い順に並べるとともに、受審段級位及び現在の段級位を明記してください。(別添様式2)

※ 弐段の受審者は初段を取得してから満5か月を経過していること。

(7月に確定したビデオ審査の初段合格者も受審資格はあります)

1) 審査申込書

ア 右下の枠内の

- ・ 「審査種別」は、級受審者は「無指定級の部」、初段受審者は「初段の部」、弐段受審者は「弐段の部」と記載する。
- ・ 審査名称：「令和4年度第1回鹿児島県離島ビデオ審査」
- ・ 審査申込書は審査名簿と同じ順に編冊すること。
- ・ **審査施行日及び会場名は記入しない(空欄とする)。**

2) 学科レポート

出題内容は次のとおりです。①、②両方とも解答してください。

解答の際は、別添の学科レポート用紙(別添様式1)に、必ず問題を記載してから解答を記入してください。

ア 初段

- ① 「基本の姿勢と動作の様式」を順に列挙し、「立った姿勢」を説明しなさい。
- ② 弓道を始めた動機（きっかけ）について述べなさい。

イ 弐段

- ① 「執弓の姿勢」について説明しなさい。
- ② あなたの弓道修練の目標について述べなさい。

※ 学科の課題を間違わないよう確認すること。

※ 回答欄が不足する場合はレポート用紙を二枚使用してもよい。

=====

4) ビデオ画像について

これまでの2回のビデオ審査の実施結果を踏まえ、撮影要領を変更しているので注意すること。

各学校は、日頃練習している弓道場（公的弓道場や校内の弓道場など）において、学校で作成した受審者名簿の順に坐射での一手行射を連続撮影する。

映像は、足踏みから打起しの頂点が入っていること（アップの映像、腰から上の映像などがあったので注意すること～添付の撮影要領を確認してください）

※ 撮影の要領は、添付の写真及び撮影状況のサンプル「<https://photos.app.goo.gl/6aro41MnKBjcgmQA6>」を参考にしてください。

※ 行射の間合いは、「前の立の甲矢の弦音で本座へ進み、前の射手の跪坐に合わせて跪坐する。前の立の乙矢の弦音で揖をし、退場に合わせて射位へ進む。

- ① 的は一つ設置し、同じ射位で順次一手行射する。
- ② 受審者は、動画の射手と名簿を一致させるためにゼッケン番号を付ける。
- ③ ゼッケンはA4用紙で対応し、袴の中央から右側に張り付ける。
- ④ ゼッケンは、「学校名、受審段位、立順」を画面でも確認できるようゴシック、太文字で、できるだけ大きい文字で明記する。

併せて、受審者が射位へ進むタイミングで「受審番号、氏名」を音声で入力すること。

⑤ 録画のファイル

- ・ **録画のファイル形式はMP4、ファイル容量は300MB程度までとし、SDカードもしくはUSBに録画したものとする。**DVDは不可

※お預かりしたSDカード、USBは結果発表の際に返却します。

- ・ 録画映像のファイル名は「支部名・学校名〇〇番から〇〇番」とする。
- ・ 10名を超える場合は、10名ごとに連続して撮影し、別ファイルとして提出すること。

5) 撮影の際の注意点

ア カメラの位置

概ね受審者の肩位の高さを目安に、受審者全員の平均的な高さで調整すること。

残心で両手まで写っていること。(別添撮影サンプル抽出画像を参照のこと)
受審者の真正面から撮影すること。(アップなどカメラワークは厳禁)

※第1回の審査では、斜め後方から撮影しているのがあったので注意すること
イ 受審者はゼッケンを付けることとするが、ゴシック太字で記載し、画面で確認できるようにするなど配慮すること。

併せて録画の際に行射する受審者の「受審番号、氏名」を音声で入力してください。

ウ 審査名簿の順に連続して行射し撮影すること。(名簿様式は別添)

1人1ファイルは厳禁 (審査業務軽減のため、連続して撮影してください)

エ 録画のファイル形式は「MP4」、ファイル容量は300MB程度までとする。ビデオDVD形式は不可。

オ 録画映像のファイル名は「学校名〇〇番から〇〇番」とする。

カ 10名を超える場合は、10名ごとに連続して撮影し、別ファイルとすること。

キ 一人の行射時間はできるだけ3分半程度とすること(審査を意識するあまり慎重な行射となり必上に時間をかけすぎる傾向にあります。(判定業務の軽減のためご協力をお願いします。))

※ 撮影にあたっては、別添の「ビデオ審査に関する要領(全弓連審査委託事業ガイドライン)」の(2)実施内容、(3)ビデオ録画要領、ゼッケン例(A4用紙)及び撮影状況のサンプル動画を参照のこと。

※ 撮影状況のサンプル「<https://photos.app.goo.gl/6aro41MnKBjcgmQA6>」

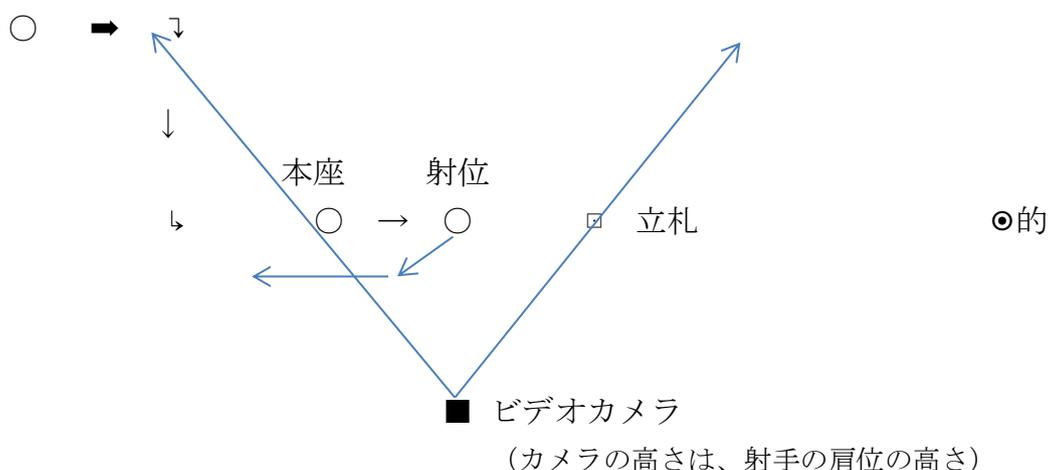
※ 不明な点があれば鹿児島県弓道連盟事務局へ問い合わせてください

メール：kagoshimaken@kyudo.jp

FAX (099) 255-6247 (携帯：090-4345-0874)

◎ 受審者の動線は次のとおり。

(三人立ちなど狭い道場の場合は、三番目の的位を使用するなどしてください)



※ 1人/一手で3分半程度でお願いします。

ゼッケン例(A4 用紙)

安全ピン、両面テープやクリップ等で外れないように止めてください



審査種別 例) 初段

〇〇 高(中)

◎◎ 番

名前 ●● ●●

※ゴシック、太文字で、できるだけ大きい文字で明記すること。